

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94700	市内遺跡発掘調査事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	3,000 千円	
	2355	目		7	文化財費	1		文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・埋蔵文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施 手法(手段)	・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財を記録保存する。 ・保存活用に必要な遺跡の内容を確認する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・宇津江中村遺跡、山本倉田遺跡、松本町須恵器散布地試掘調査、広瀬城跡現況測量、図面・遺物整理						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		埋蔵文化財対応件数	件	目標値	15	15	15	15
	算出根拠等	埋蔵文化財発掘の届出、通知数		実績(見込)	26	22	20	
	成果指標	現地調査・指導件数	件	目標値	3	3	3	3
		算出根拠等	試掘調査件数		実績(見込)	3	4	3
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	133	100	
		算出根拠等		目標値				
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	算出根拠等		目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
補足	算出根拠等		実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・試掘調査などの効率的な実施。県補助金の復活によるコスト削減。 ・指定遺跡の歴史的価値の周知等により、市民への一層の意識向上を促す。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・委託業務などで効率的な事業実施に取り組んでいる。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・開発に対応するため、継続して事業を行う。 ・国史跡の指定に向け、調査成果を踏まえた検討を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・県に対して補助金の復活を求める必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	3,661	2,776	3,500	5,142
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	40	30	38	57
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市内にある埋蔵文化財の発掘調査 ・開発事業に伴う試掘確認及び範囲確認調査 ・市内遺跡発掘調査報告書の刊行	要求の ポイント	・開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査 ・国の指導等による広瀬城跡等の内容確認調査 ・市内遺跡発掘調査報告書の刊行	事業 実施 の 課題	・国の史跡指定に向けて、必要な図面等を作成するとともに専門家の指導を受ける。
------	---	-------------	--	---------------------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	3,500	5,142	1,642	3,300	3,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	1,750	2,571	821	1,650	1,650		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,750	2,571	821	1,650	1,650		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94710	歴史資料購入事業費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		2977	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	1,000	千円
	目	7	文化財費	施策	1	文化財などの保存・継承						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	事業の実施手法(手段)	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・伝統工芸品、民俗資料の購入						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	資料購入件数	件	目標値	15	15	1	5
		実績(見込)			35	64	1	
	算出根拠等			達成率(%)	233	427	100	
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・高山の歴史文化の資料充実のため、歴史的資源の散逸を防ぎ、活用を図る。
-----------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・収蔵品展等を行い、広く市民に公開、周知する。 ・収蔵品展など市民への公開を継続的にすすめる。 ・購入書籍などのデータベース化と、館内システムでの検索を行い、利用者への周知と閲覧しやすく環境づくりに努める。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続的に貴重な歴史資料の購入を進める。 ・収蔵品展など市民への公開を継続的にすすめる。 ・学校などへ、資料の活用などの情報提供を行う。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・飛騨高山まちの博物館での展示も含め、購入した資料の更なる有効活用に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,913	3,000	1,000	2,009
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	75	33	11	22
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・郷土に関わる歴史資料(文人・画人作品、古文書、伝統工芸品、民俗資料、図書資料等)の購入	要求のポイント	・文化財等公有振興基金での取得資料の買戻しに係る備品購入費を計上	事業実施の課題	・貴重な歴史資料には高額なものが多いため、文化財等公有振興基金の計画的な運用が必要
------	--	---------	----------------------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	2,009	1,009	1,000	1,000	・積算内容を精査 ・基金買戻しについては平成27年度3月補正予算に計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	2,009	1,009	1,000	1,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94720	文化財保護事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
				款	9	教育費		分野	3	教育・文化		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	文化財保護事業	8,700 千円
				2356	目	7		文化財費	1		文化財などの保存・継承	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	文化財保存団体	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る 文化財保護行政の円滑な執行 	概要	事業の実施 手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存団体に対する補助 史跡や伝承芸能の保存を行っている団体の運営・活動経費にあてるため必要な補助を行う 文化財関係協議会等への参加、負担金支出
	対象者数	56 団体					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 地区保存会(11団体) 屋台管理(1団体) 高山祭屋台保存技術後継者育成(1団体) 史跡保存団体(12団体) 伝承芸能保存団体(11団体) 市指定文化財管理(2団体) 国指定文化財管理(8団体) 							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動指標	補助件数	件	目標値	49	47	56	56
				実績(見込)	47	46	56	
		算出根拠等		達成率(%)	96	98	100	
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 国等の補助金を活用して、保存団体の積極的な文化財保護活動を支援していけるよう検討する
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 国等の補助金の活用により活動の充実を図れるよう、情報提供を行っている 	
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 制度の効果を検証する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,152	6,136	8,677	8,683
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	78	67	95	95
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保護団体に対する支援を実施 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化継承への支援 伝承芸能保存団体等に対する助成 	事業 実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> 保存会の高齢化及び人数の確保
------	---	-------------	---	-----------------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,677	8,683	6	8,677	8,677	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	119	119	0	86	86		
一般財源	8,558	8,564	6	8,591	8,591		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94725	指定文化財保存修理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	款			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	10,000	千円
	2355	目		7	文化財費	施策		1	文化財などの保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民・文化財保存団体	どうしたいのか(意図)	・文化財を保存することを支援し、文化財の保存を図る。 ・指定文化財を保護し次代に伝える	概要	事業の実施手法(手段)	修理希望のあった国・県・市指定文化財について助成を行う
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		<ul style="list-style-type: none"> 国指定文化財: 照蓮寺本堂修理工事 県指定文化財: 水無神社の神事芸能、高山白山神社の矢立スギ 市指定文化財: 正宗寺本堂、西教寺の夫婦マン 						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		修理件数	件	目標値	2	2	3	7
	算出根拠等		実績(見込)	4	5	10		
	成果指標	修理件数(再計)	件	目標値	2	2	3	7
		算出根拠等		実績(見込)	4	5	10	
	補足	算出根拠等	達成率(%)	200	250	333		
			目標値					
		実績(見込)						
		達成率(%)						
		算出根拠等	目標値					
			実績(見込)					
		達成率(%)						
算出根拠等		目標値						
		実績(見込)						
達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 建造物修理に合わせた耐震診断と耐震補強の実施 日常の維持管理に対する啓発
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・修理を実施する際、設計士を入れた関係者との協議や、文化財審議会での協議を行い、適正な修理が行われるよう対応している。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・保存計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する必要がある。
二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・各文化財の状態を正確に把握し、中長期的な計画を作成する等、計画的に取り組む必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	16,477	18,744	15,000	10,762
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	179	205	165	118
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・文化財所有者の行う修理等に対する助成	要求のポイント	・指定文化財の存続のための保存修理	事業実施の課題	・国・県などと歩調を合わせていく必要がある
------	---------------------	---------	-------------------	---------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	15,000	10,762	△ 4,238	12,000	12,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金		802	802	800	800		
	その他			0				
	一般財源	15,000	9,960	△ 5,040	11,200	11,200		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94730	世界文化遺産登録推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	款			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H28実施計画額	基本施策	5	歴史文化	500 千円	
	2355	目		7	文化財費	施策		2	歴史・文化を活用した地域づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・高山の町並等の世界遺産への登録 ・高山祭の屋台行事のユネスコ無形文化遺産への登録 ・歴史・文化の語り部の育成 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発活動等 ・歴史ガイドマスター等による語り部の育成
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・ボランティア養成講座を開催。また提案地区内で各種会合の際に、啓発活動を積極的に実施した。						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	啓発件数	件	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	100	100	100	100
		算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	100
	活動指標	ボランティア講座の開催	回	目標値	8	8	10	10
				実績(見込)	9	11	10	10
		算出根拠等		達成率(%)	113	138	100	100
	成果指標	世界(有形・無形)文化遺産の登録件数	件	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	0	0	0	0
		算出根拠等		達成率(%)	0	0	0	0
成果指標	講座受講者数	人	目標値	150	250	250	250	
			実績(見込)	356	480	250	250	
	算出根拠等		達成率(%)	237	192	100	100	
補足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産登録を目指すために、文化庁との連携を密にし、課題解決に臨む。 ・ボランティアガイドの育成は、継続して行い、幅広い人々に啓発する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等。無形文化遺産の登録に向けて、文化庁との連携を密にする。 ・まちの博物館でボランティアガイドの活動を行い、市全体への足掛かりとする。 ・ボランティアの育成に向け、各種講座を開催する。 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産登録に向けて、啓発活動等を積極的に行う。 ・無形文化遺産の登録に向けて、文化庁との連携を密にする。 ・ボランティアガイドの登録者数を増やす取り組みを行い、登録者のスキルアップのため専門の講座を開催する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	193	96	500	487
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2	1	5	5
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産登録に向けての啓発活動 ・語り部の育成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史ガイドマスターの養成 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化資源の保存活用のため、市民への啓発や自ら保存活用に取り組む人材を育成する必要がある。 ・子どもたちが、郷土の歴史や文化を理解、継承するための環境づくりが必要である。
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	500	487	△13	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	100		△100	200	200		
	一般財源	400	487	87	300	300		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94750	伝統的建造物群保存地区保存事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	課			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	40,000	千円
	2355	目		7	文化財費	1		文化財などの保存・継承				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか(意図)	概要	事業の実施手法(手段)	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する補助等。
	対象者数	4,115,938 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	修理、修景8件							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	修理修景数	件	目標値	10	10	9	7
		算出根拠等		実績(見込)	10	8	9	
	成果指標	景観維持向上事業	件	目標値	10	10	9	7
		算出根拠等		実績(見込)	10	8	9	
				達成率(%)	100	80	100	
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・コストなどの縮減につとめ、効率的に事業を実施する必要がある。県費補助金の復活。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・コスト縮減の視点から、修理家屋等それぞれの設計書の点検や見直しなどを行っている。 ・文化財審議会での協議で定めた修理・修景方針に基づき事業を実施する。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・保存計画に基づき、今後も継続実施する。 ・耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・保存計画に基づき今後も継続して実施するとともに、建築物の使用形態や屋外広告物なども含め、地区全体のあり方について地元住民等とともに考える必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円) (A)	40,252	40,186	40,500	40,500
	受益者1件当たり(円) (A/B)	10	10	10	10
	受益者 市民、観光客 (B)	4,037,097	4,116,605	4,115,938	4,115,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・伝統的建造物群保存地区「高山市三町」「高山市下二之町大新町」内の建物の修理、修景に対する助成	要求のポイント	・歴史的町並み保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区保存対策に対する助成	事業実施の課題	・伝建地区内の特定物件の追加 ・建築基準法緩和に関する調査
------	---	---------	--	---------	----------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	40,500	40,500	0	40,500	40,500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	20,500	20,500	0	20,500	20,500		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94755	伝統的建造物群保存地区防災対策事業費	内線 2355	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	款				9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課			7	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	実施計画事業	伝統的建造物群保存地区防災対策事業
	目	7	文化財費		施策	1	文化財などの保存・継承		H28実施計画額	40,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか (意図)	・伝建地区を災害に強い町並とするために、伝建地区の土蔵の修理や防災設備の整備を継続して実施し、防火能力の向上をさせる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・伝建地区内の土蔵等修理事業に対する補助、防災設備の整備等。
	対象者数	4,115,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	グループ火災自火報設置、グループ火災自火報1地区、土蔵修理4件								
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動 指標	伝建地区土蔵等修理実施件数		件	目標値	4	7	6	5
		実績(見込)				2	4	6	
		算出根拠等			達成率(%)	50	57	100	
	成果 指標	伝建地区防災向上件数		件	目標値	4	7	6	5
		実績(見込)				2	4	6	
		算出根拠等			達成率(%)	50	57	100	
	成果 指標				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
成果 指標				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補 足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地元との入念な打ち合わせを行いながら、事業を推進する必要がある。
---------------------	-----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況	・防災計画に基づき、事業実施する。	
次年度 の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	40,469	27,541	41,600	40,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	10	7	10	10
	受益者	市民、観光客	(B)	4,037,097	4,116,605	4,115,938	4,115,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・伝統的建造物群保存地区「高山市三町」「高山市下二之町大新町」内の土蔵修理等防災対策に対する助成	要求の ポイント	・歴史的町並み保存の推進 ・伝統的建造物群保存地区防災対策に対する助成	事業 実施の 課題
------	--	-------------	--	-----------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源 内訳	歳出(千円)	41,600	40,000	△ 1,600	40,000	40,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	21,600	20,000	△ 1,600	20,000	20,000		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94760	歴史遺産等保存活用事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	款			9	教育費	分野		3	教育・文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課		内線	項	4	社会教育費	H28実施計画額	基本施策	5	歴史文化	3,300 千円	
	2355	目		7	文化財費	施策		2	歴史・文化を活用した地域づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか (意図)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道の整備や歴史文化遺産の活用等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 文化財を良好に維持し、文化的価値を幅広く広めることで文化財に対する意識を高める。 伝統的建造物の耐震化を進める。 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道周辺の文化的景観地等保全計画策定 地元農村景観保存組織立ち上げ支援 美しいふるさと認証の実施 歴史街道ルート復元整備 歴史街道およびその周辺等に文化財等の位置、内容等を記載した説明看板、石柱等を設置 歴史街道沿いの休憩、拠点施設の活用及び整備 天然記念物の現況調査、保護対策 伝統的建造物耐震化マニュアルの啓発、活用 ふるさと伝承記録の作成
	対象者数	4,115,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 歴史街道(越中街道)の案内看板等整備 位山官道整備、乗鞍育屋登山道石仏祠整備 歴史文化財説明看板の修繕及び多言語化を実施 支所地域での文化財標柱の設置 ふるさと伝承記録として、清見地域のひわりの舞を記録として残した 美しいふるさと認証として、団体や個人合わせて14団体を認証した 高山市伝統構法耐震化マニュアルの講習会を開催した 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	測量・整備箇所	箇所	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績(見込)	1	3	1	
成果指標	整備街道数	箇所	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績(見込)	1	3	1	
活動指標	説明板等設置数	箇所	目標値	3	5	5	5
	算出根拠等		実績(見込)	2	3	5	
成果指標	説明板等設置数	箇所	目標値	3	5	5	5
	算出根拠等		実績(見込)	2	3	5	
活動指標	伝承芸能記録作成件数	件	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績(見込)	1	1	1	
成果指標	美しいふるさと認証団体数	件	目標値		20	20	20
	算出根拠等		実績(見込)	52	14	20	
補足			達成率(%)	100	100	100	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域からの要望も取り入れ、また活用方法についても検討していく。 文化財標柱設置に係るコストの縮減 ふるさと伝承記録や美しいふるさと認証は継続して行う必要がある
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 各地域住民との連携を図る。 歴史街道を整備し、地域振興としての活用を図る。 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 説明看板等の多言語化を進める。 伝承記録として残す。 美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う 	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 今後も計画的に実施する。 多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の設置を全市的に行っていく。 引き続きふるさと伝承記録として地域の伝承記録等を記録する。 引き続き美しいふるさと認証団体の募集と認証を行う。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果を検証する必要がある。 (説明看板等の設置・・・担当課評価に同じ) 伝統構法木造建築物の耐震化促進に向けた普及・啓発を実施する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,498	10,139	3,830	6,114
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1	2	1	1
	受益者	市民、観光客	(B)	4,037,097	4,116,605	4,115,938	4,115,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと伝承記録制作委託 天然記念物や史跡等の維持管理や保存環境の整備 文化財標識等の作成設置及び既存看板の修繕、多言語化 美しいふるさと認証 木造建築物耐震化マニュアルの事例報告会開催 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化や文化財等の調査・記録による保存・継承と活用 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民、各保存会などと連携し事業を進めることが必要である
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	3,830	6,114	2,284	5,840	5,840	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	その他	0	0	0	90	90		
	一般財源	3,830	6,114	2,284	5,750	5,750		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費	会計	1 一般会計	政策	3 生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画		市長公約
		款	9 教育費	分野	3 教育・文化	実施計画事業	高山祭屋台保存修理事業	
担当課	教育委員会事務局 文化財課	項	4 社会教育費	基本施策	5 歴史文化	H28実施計画額	40,000 千円	
	内線 2355	目	7 文化財費	施策	1 文化財などの保存・継承			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民、屋台組	どうしたいのか(意図)	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	事業の実施手法(手段)	・国、県、受益者負担により緊急に修理が必要なものから、順次修理を行う。
	対象者数 90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・大八台、神馬台、日枝神楽台、行神台、石橋台 修理 ・宝珠台蔵 修理								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動指標	屋台及び屋台蔵の修理件数		件	目標値	6	5	4	4
		実績(見込)			7	5	3		
		算出根拠等			達成率(%)	117	100	75	
	成果指標	祭の回数		回	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)			2	2	2		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。技術保有者を認定し、修理を実施していくことで伝統構法や技術の継承などにも寄与している。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 (担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円) (A)	38,001	36,027	40,000	40,000
	受益者1件当たり(円) (A/B)	413	393	440	440
	受益者 市民、屋台組 (B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台、屋台蔵の保存修理 ・年次計画に基づく全屋台(23台)の修理 ・屋台収蔵施設である屋台蔵の修理、防災対策	要求のポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施 ・屋台修理技術等の伝承	事業実施の課題	・原材料等の高騰によるコストの増加
------	--	---------	--	---------	-------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	40,000	40,000	0	40,000	40,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	20,000		
	県支出金			0				
	その他	4,000	4,000	0	10,500	10,500		
	一般財源	16,000	16,000	0	9,500	9,500		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94780	市史編纂事業費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	課			款	9	教育費		分野	3	教育・文化		
担当課	教育委員会事務局 文化財課		2356	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	10,000	千円
	目	7		文化財費	1	文化財などの保存・継承						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	郷土の歴史を次代に伝える	概要	事業の実施 手法(手段)	・高山市史の編纂、刊行 ・編纂調査成果の公開、活用
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		・本編として「街道編」を発刊した。 ・建造物に関する講演会を開催し、市民への関心を高めた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動指標	刊行がなされた市史等の巻数		巻	目標値	1	1	1	1
		実績(見込)			1	1	1	1	
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	成果指標	作製した冊数		冊	目標値	300	300	300	300
		実績(見込)			300	300	300		
		算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
					目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
					目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					
補足									

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	様々な機会をとらえて、市史等の情報を提供し、より多くの受益者が歴史や文化に触れるようにする必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H27対応状況		・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。 ・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるようにする。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大	・「考古編」を発刊予定。 ・市史に関する講演会や講座を開催し、市民への関心を高める。 ・ホームページでも公開し、教育や観光振興に活用できるよう配慮する。
	○ 維持・改善 縮小	(担当課評価に同じ)
○ 維持・改善 縮小		
○ 維持・改善 縮小		
○ 維持・改善 縮小		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	6,158	9,428	9,764	10,750
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	67	103	107	118
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市史「近世前半」の発刊 ・市史編纂に関する歴史資料の購入及び調査・研究	要求の ポイント	・高山市史の編纂、刊行	事業 実施 の 課題	・長期的な事業となるため、計画的な実施と効率的な事務の推進が必要
------	---	-------------	-------------	---------------------	----------------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,764	10,750	986	9,934	9,934	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	500	500	0	500	500		
	一般財源	9,264	10,250	986	9,434	9,434		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94800	飛騨高山まちの博物館管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	市長公約
	款			9	教育費	分野		3	教育・文化	実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線	2977	項	4	社会教育費	基本施策	5	歴史文化		H28実施計画額	29,000 千円
				目	8	文化財施設費		3	歴史・文化に親しみ理解する機会の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民、観光客	どうしたいのか (意図)	・市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 ・観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	事業の実施手法(手段)	・城下町高山を中心とした歴史文化について資料収集、調査研究、展示、教育普及などの活動をおこなう。
	対象者数	4,115,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	・施設維持のための休館日を1日に抑えた。 ・3展示室のリニューアルを行い、より分かり易い常設展示への転換を図った。					
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
活動指標	展示見直し室数(共催展示開催数・常設展示見直し数)	室	目標値	3	3	5	5
			実績(見込)	4	4	5	
成果指標	来館者数	人	目標値	72,000	72,000	72,000	220,800
			実績(見込)	183,304	154,217	160,000	
成果指標	研修室・酒蔵ホール利用人数	人	目標値	7,300	7,300	7,300	7,300
			実績(見込)	20,037	5,510	7,300	
成果指標	学校・視察時解説回数	回	目標値	48	48	48	48
			実績(見込)	32	41	48	
成果指標	資料閲覧・掲載、図書閲覧、各種調査対応、寄附資料調査登録数	人	目標値	365	365	365	365
			実績(見込)	292	379	365	
活動指標	歴史講座・各種教室開催数	回	目標値	6	6	6	6
			実績(見込)	5	13	6	
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・子どもや高山の歴史について基礎知識のない方、外国人にも分かりやすい展示となるよう、解説等を順次見直していくことが必要。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・城下町高山と金森氏について、より分かり易い常設展示のリニューアル案を企画する。 ・他館の展示招聘や他事業との連携により、幅広い世代と来館者に対応できる企画を実施する。 ・養成講座により、博物館ボランティアの育成を図り、学習成果の発揮する機会を提供する。	
担当課評価	○維持・改善 拡大	・館内の案内表示を増やしたり、計画的に常設展示のリニューアルを図ることで、見やすく分かり易い学習環境を整備する。 ・児童生徒向けのワークシート等を作成し、学校郷土学習や自主学習の支援を図る。 ・高山歴史講座のほか、ものづくり体験教室、調べ学習など学童やその親の世代を対象に気軽に遊び学べる教育普及事業を多数開催し、広く遠く市民サービスを提供する。
	○維持・改善 縮小 廃止検討	・他の博物館や自治体、文化団体などとの連携による展示事業を開催し、幅広い分野での学習機会を提供する。
二次評価	○維持・改善 拡大	・まちの博物館周辺の周遊性を高めるような活用を図っていく必要がある。
	○維持・改善 縮小 廃止検討	・ガイドの育成等により、まちめぐりの拠点としてより多くの人が利用し、高山の魅力を理解してもらえるよう取り組む必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	25,252	27,186	29,013	29,847
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6	7	7	7
	受益者	市民、観光客	(B)	4,037,097	4,116,605	4,115,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・飛騨高山まちの博物館の管理と運営 ・郷土の歴史資料の公開、資料の調査収集、資料の保存、児童生徒の学校教育(郷土教育推進)支援と愛郷心の育成、市民全般の生涯学習機会の充実、国内外の観光客誘致推進施設及び伝建地区と歴史的風致維持向上重点地域の拠点施設としての役割、研究者への情報提供支援と研究成果の還元 ・展示開催、資料整理、各種講座・教室開催、施設修繕等	要求のポイント	・学芸員によるギャラリートークや未来の高山を担う子供たちのための教育普及活動の充実 ・特別展の開催	事業実施の課題	・資料の増加による収蔵スペースの確保・保管体制の充実 ・子どもに分かり易く、観光客や外国人が高山の歴史・文化を理解することができる展示の充実
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	29,013	29,847	834	26,113	26,113	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	45	40	△5	45	45		
	一般財源	28,968	29,807	839	26,068	26,068		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94810	文化財施設管理事業費	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画		市長公約
			款	9	教育費		分野	3	教育・文化	実施計画事業	文化財施設管理事業	
担当課		内線	項	4	社会教育費		基本施策	5	歴史文化	H28実施計画額	48,000 千円	
		2354	目	8	文化財施設費		施策	3	歴史・文化に親しみ理解する機会の充実			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・郷土の歴史に対して興味・関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える ・収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理	概要	事業の実施手法(手段)	・指定管理による施設運営 ・収蔵施設の維持管理
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・指定管理施設7施設(30,180千円)など								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28	
	活動指標	開館日数	日	目標値	280	365	365	365	
		算出根拠等		実績(見込)	280	365	365	365	
	成果指標	入館者数	人	目標値	107,200	107,200	107,200	107,200	
		算出根拠等		実績(見込)	191,665	215,249	100,000	100,000	
	補足				達成率(%)	100	100	100	100
					目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
					目標値				
					実績(見込)				
					達成率(%)				
					目標値				
			実績(見込)						
			達成率(%)						
			目標値						
			実績(見込)						
			達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・保存していくだけでなく、活用についても検討が必要
-----------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・事業の充実、パンフレットの作成、展示の見直し等文化財施設としての活用の充実を図る	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・ランニングコストの低減に努める ・特別展を開催し、それに合わせて展示やパンフレットの見直し等を行う
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	49,835	49,060	48,154	53,935
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	541	536	530	593
	受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理による文化財施設の運営 ・文化財収蔵施設等の維持管理 ・風土記の丘学習センター等の管理運営 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設をはじめ、文化財施設の事業の充実 ・風土記の丘学習センターの体験教室の充実 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化による修繕の増加 ・入館者数の増加に向けた取り組み
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	48,154	53,935	5,781	49,999	49,999	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	194	194	0	194	194		
	一般財源	47,960	53,741	5,781	49,805	49,805		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	94820	伝統文化交流拠点施設整備事業費	内線	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本目標	3	生きがいと誇りを持ち豊かな心を育むまち	根拠計画	歴史的風致維持向上計画	市長公約	観光産業の振興 ・市内観光及び広域観光の交通発着点であり、地産地消や高山の文化なども体験できる拠点空間(このような拠点のことを観光ハブ拠点と称します)の形成を努めます。
種別					款	9	教育費		基本分野	3	教育・文化		実施計画事業		
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	項	4	社会教育費		分野	5	歴史文化	H27実施計画額	205,000 千円		
			2355		目	8	文化財施設費		施策概要	2	歴史・文化を活用した地域づくり				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・旧森邸を整備し、歴史的風致維持向上に向けての拠点施設として整備する。	概要	事業の実施手法(手段)	・旧森邸(旧図書館含む)等を、まちの博物館と一体的に活用するための施設として整備をする。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績		指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
成果面	成果指標	対象建物等の整備数(解体含む)	箇所	目標値			2	0
				実績(見込)			2	
	算出根拠等			達成率(%)			100	
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
				達成率(%)				
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

平成26決算における分析・評価で明らかになった課題	・旧森邸の整備において、まちの博物館と一体的に活用するための機能を確保する。
---------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・旧森邸等整備事業について具体的な検討を進める。														
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">旧森邸等整備事業の設計業務を委託する。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	○ 維持・改善	旧森邸等整備事業の設計業務を委託する。	拡大	縮小	二次評価	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善		拡大		縮小		廃止検討	
○ 維持・改善	旧森邸等整備事業の設計業務を委託する。														
拡大															
縮小															
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>維持・改善</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	維持・改善		拡大		縮小		廃止検討							
維持・改善															
拡大															
縮小															
廃止検討															

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	109,040	5,000
受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	0	1,199	55	
受益者	市民	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・歴史的風致の維持向上に向け、拠点施設の整備を実施	要求のポイント	・伝統文化交流拠点施設(旧森邸等)の整備	事業実施の課題	・整備後の施設の運営方針等の検討
------	---------------------------	---------	----------------------	---------	------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	109,040	5,000	△ 104,040	20,240	20,240	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金	43,200	2,250	△ 40,950	8,100	8,100		
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	65,840	2,750	△ 63,090	12,140	12,140		